



⑫



⑬



⑭

- ⑫まなびあむで開催した「おばあちゃんの技を子ども達へ」。料理指導で多世代交流
- ⑬あそびあむで遊びの体験「えほんとおそぶ」
- ⑭引揚記念館で語り部の活動
- ⑮海・山など、自然豊かな資源に囲まれている本市。未来に希望がもてる活力あるまちを目指す

この一年が皆さまにとって、私たちのまちにとって、新たな発展と飛躍の年となることを心からお祈り申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

その力と可能性を發揮できるように環境づくりに力を注いでいきたいと考えています。

市民の皆さまの思いと意欲、そして舞鶴への「誇り」がまちづくりの源泉であり推進力です。私はそれを大切にして、共に育んでいきたいと思いますので、どうか本年もよろしくお願いいたします。



⑮

市民の皆さまとの対話集会でこんな話がありました。

「つながりが広がるまちに住みたい」

地域におけるつながりの希薄化が叫ばれる今日ですが、誰もが人と人のつながりをどこかで必ず求めている、そんな思いから出てきた言葉ではないでしょうか。

私の座右の銘にしていることに「自他共栄」という言葉があります。互いに信頼し、

歴史や文化、産業などがあり、それを生かす人がいることが最も大事なことで、人と人の「つながり」の大切さ、そして人が思いや意欲を持って行動することが欠かせないということを再認識いたしました。

未来に希望がもてる活力あるまち。第7次総合計画で掲げた都市像ですが、活力あるまちというと皆さまはどのようなまちを想像しますか。人が元気に活動している姿、笑顔があふれている様子、皆さまそれぞれが考える活力あるまちがあると思います。

助け合うことができれば、自分も世の中の人も共に栄えることができるという考え方は、誰かを助けたい、ワクワクを提供したい、おいしいものを届けたい。誰かのためを思い、人と人がつながった先には活力あるまちが見えてくるのではないのでしょうか。

私は、こうしたまちを実現するためにも、市民の皆さまが



⑦



⑧



⑨



⑩

- ⑦室牛地区でアーティストと市内小学生などが一緒に田植え
- ⑧西ふ頭に入港した「飛鳥II」。昨年は10隻の大型客船が入港
- ⑨子ども達が独自の発想で作品づくりに取り組んだアートスタート事業「植えるArt」
- ⑩赤れんがハーフマラソンに計2,665人が参加
- ⑪次世代の思いを紡ぐ対話集会（社会人編）



⑪